

新版 高校生の美術 2 (116-日文・美Ⅱ-304)

1 学習指導要領との関連

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
学習指導要領全般	●学習指導要領に示された「芸術科」の目標及び内容を踏まえ、「生涯にわたり芸術を愛好する心情」を育て、「芸術文化についての理解を深める」ことができるように、幅広い視点から題材を設定した。	●教科書全般
「美術Ⅱ」の目標との関連	●学習指導要領「美術Ⅱ」の目標及び内容を踏まえ、高校生の「感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす」ことができるように、適切に題材を選択し、配列した。 ●題材の設定については、「美術Ⅰ」の幅広い美的体験の上に立ち、高校生の造形的な発達に応じた取り扱いができるように配慮した。	●教科書全般
表現及び鑑賞の活動の取り扱い	●表現題材では、「美術Ⅰ」での学習を基礎にして、自分なりの「発想や構想」を基に主題を生成し、表現形式を選択して「創造的な技能」を用いて個性豊かな表現の手がかりとなる参考例を多く掲載した。 ●鑑賞題材では、作者の「発想や構想の独自性」「表現の工夫」などについて理解を深められるように作品を精選した。 ●「時代、民族、風土、宗教」などによる我が国及び諸外国の表現の相違について表現と鑑賞相互の関連の中で学習できるように配慮した。	●教科書全般

2 内容の適切度

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
編集意図の新鮮さ・明確さ	●ページ数を増やして、題材の情報量と学習に役立つ資料の充実を図った。 ●「ねらい」「リンク」「課題」「作家の言葉」をマークやイラストレーションで示し、それぞれ関連付けて学習できるように工夫した。 ●各題材に学習のねらいを明確に示し、生徒が学習に取り組みやすいように留意した。	●教科書全般,60~81 ●教科書全般 ●4,6,8,10,12,14,16,18,22,30,32,36,38,40,42,44,46,48,50,54,56,58
内容の程度、正確性への配慮	●掲載作品には、解説文や作者の言葉をつけて作品の理解に役立つように工夫した。 ●日本人作家、撮影者、読みにくい作品名、日常あまり使われない美術用語などには、振り仮名をつけて、学習に役立つように配慮した。 ●作品と作家のデータは、作品の理解に役立つように詳しく、正確で、わかりやすい表記を心がけた。	●教科書全般
時代への適応性及び環境への視点	●身の回りにおけるデザインや映像メディア表現から学習する題材を設定するなど、今日的な内容を積極的に取り上げた。 ●庭園をテーマにした題材を取り上げるなど、環境への意識が高まるように配慮した。 ●身近な環境や自然を見つめて美しさを発見し、環境の保全に寄与する態度を育む機会となる内容を設けた。	●42~45,50・51,56~59 ●48・49 ●6~9,14・15,42・43
人権尊重などへの視点	●表現や鑑賞を通して、様々な人々との共生や社会との関わり、福祉の視点から題材の設定や掲載作品の選択に配慮した。 ●校内展の展示や共同制作、地域イベントなど美術を通じてコミュニケーションを密にし、社会とも関わる題材を設定した。 ●「ねらい」などのマークは、はっきりとした色彩にするなど、カラーユニバーサルデザインにも配慮した。	●12・13,20,40・41,43,46・47,50・51,57 ●79・80 ●教科書全般
我が国及び諸外国の美術文化についての視点	●日本美術の題材を設定し、斬新な視点から我が国の美術文化への理解が深まるように工夫した。 ●「作家探究」として日本人の作家を取り上げ、理解を深めることができるように工夫した。 ●資料として美術史のページを設け、古代から現代までの日本及び海外の美術の流れを概観できるように工夫した。	●22~28 ●34・35,52・53 ●60~63

3 学習効果への配慮

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
基礎・基本の押さえ	●「美術Ⅱ」で学ぶべき基礎的、基本的事項をしっかりと学習できるように題材を設定し、さらに制作過程や説明図を入れるなどして、理解が深まるように工夫した。 ●資料として「美術史料」「技法」「色彩」のページを設けて、学習の助けになるように解説した。特に「色彩」のトーン分類図のページは、本の外側に広げられるようにして、どの題材でも参照できるように工夫した。	●4,21,31,40・41,45,47,56,59 ●60~78
美術への関心・意欲・態度についての配慮	●生徒が興味・関心を持てるように、生徒の身近にあるものをテーマにした作品や漫画、絵本、アニメーション、トリックアートなどを取り上げた。 ●生徒が親近感を持てるように、生徒作品も多く掲載した。	●10・11,21,33,44・45,50・51,56・57 ●7,9,11,13,17,21,33,37,43,45,55
発想や構想の能力への配慮	●「美術Ⅱ」の「4 内容の取扱い」(3)の内容を踏まえ、デッサンやスケッチ、下絵などを示して作家の発想や構想を理解する手がかりとするとともに、生徒が発想や構想を練る上でのデッサンやスケッチが有用であることを学べるように配慮した。	●13,15,17~19,21,31,40・41,45,47
鑑賞の能力を高めるための配慮	●「庭園の造形」のように日本や諸外国の美術の鑑賞題材の充実を図り、表現の相違や共通性への理解を深められるように配慮した。 ●日本美術を代表する琳派については複数のページを割り当てるとともに両観音開きとし、さらに屏風絵を折り曲げて鑑賞できるように工夫して、知識等を学びながらそのよさを実感できるように配慮した。 ●作品を掲載している作家をイメージしたイラストレーションと作家の言葉を掲載して、作家の考え方などに触れられるように工夫した。	●48・49,教科書全般 ●22~28 ●6,8,12,14,17,28,32,36,38
他教科や中学校美術科との関連	●漫画、ポスター、校内展示、イベントを通じた地域とのコミュニケーションなど中学校美術科の内容を受けて、生徒の造形的な能力の発達に応じた取り扱いができるように配慮した。 ●「庭園の造形」や資料の「美術史料」では、古代から現代までの美術を取り上げ、時代、地域、民族、風土、宗教などによる表現の相違や共通性について理解を深められるように配慮した。	●33,40・41,79・80 ●48・49,60~63

4 造本・体裁

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
印刷	●美術の教科書にふさわしく、作品のよさが正しく伝わるように、鮮明で美しい印刷を心がけた。また、印刷用紙も印刷に最適な用紙を厳選した。	●教科書全般
製本	●判型はA4判とし、製本方式は、折ごとに糸でかがり表紙をつける網代形式で、破れにくく堅牢な造本にした。 ●ページ数を増やし、表紙を入れて82ページとした。	●教科書全般
安全性について	●印刷は生徒のアレルギーなどを考慮して植物油インキを使用した。また、表紙の表面加工にも配慮し、教科書を使用するに当たっての健康上の安全性に留意した。	●教科書全般
環境への配慮	●用紙は、表紙・本文とも再生紙を使用し、環境への配慮を十分にした。	●教科書全般